

植 調 協 会 だ よ り

◎ 会計監査について

昭和60年5月15日(水), 昭和59年度事業の実施状況・収支決算につき監査を受けた。

◎ 第49回役員会開催す

昭和60年5月22日(水), 植調会館3階会議室において開催され, 次の議案につき審議可決された。

1. 役員人事の件
2. 昭和59年度事業報告及び決算報告承認の件
3. 昭和59年度剰余金処分(案)承認の件
4. 昭和60年度事業計画及び予算(案)承認の件
5. 当協会創立二十周年記念行事収支決算報告の件

1. 役員人事の件

このたび, 理事として御尽力をいただいた浦野啓司氏と監事として御尽力をいただいた武田公一氏が退任された。長い間大変御苦勞様でした。

次の両氏が新たに理事に選任された。

新任理事 家木裕隆(石原産業株式会社)
 “ 瀬島基太郎(塩野義製薬株式会社)

2. 昭和59年度事業報告及び決算報告承認の件

1) 昭和59年度事業報告について

(1) 一般事業に関する事項

- ① 第47回役員会(昭和59年5月23日開催)
- 第48回役員会(昭和59年12月14日開催)
- ② 監査(昭和59年5月9日実施)
- ③ 評議員会(昭和59年9月26日開催)

(2) 受託・委託試験研究事業に関する事項

ア. 重点研究課題

① 水田体系是正用除草剤(一発処理剤)の開発に関する研究(継続)

② 水田一発処理剤の補正散布に関する研究(継続)

③ 水田難防除雑草の防除に関する研究(継続)

④ 水田雑草発生診断法に関する研究(継続)

⑤ 不良環境条件下における水田除草剤使用方法に関する研究(継続)

⑥ 水稻倒伏軽減剤の開発に関する研究(継続)

⑦ 畑地用細粒剤の開発に関する研究(継続)

イ. 受託試験

永年使用除草剤総合安全性確認調査技術確立に関する研究(1年目)

ウ. 受託・委託試験

① 除草剤および生育調節剤の薬効・薬害試験
 昭和58年度冬作関係…73薬剤の延べ373点
 昭和59年度夏作関係…466薬剤の延べ2959点

② 除草剤および生育調節剤の試験結果

① 昭和58年度冬作関係……73薬剤のうち
 「実」5薬剤, 「実・継」27薬剤, 「継」39薬剤,
 「継？」2薬剤

② 昭和59年度夏作関係……466薬剤のうち,
 「実」46薬剤, 「実・継」220薬剤, 「継」194
 薬剤, 「継？」4薬剤, 「中止」2薬剤

③ 昭和59年度普及適用性試験……815件

④ 昭和59年度農業作物残留分析試験……46件

⑤ 昭和59年度土壌残留分析試験……9件

2) 昭和59年度収支決算報告について

(1) 公益事業会計

収 入		98,685,448 円
支 出		94,447,873
剰 余 金		4,237,575

(2) 公益委託試験会計

収 入		956,663,676 円
-----	--	---------------

支 出	902,965,384
剰 余 金	53,698,292
(3) 収益事業会計	
収 入	13,760,244 円
支 出	12,903,842
剰 余 金	856,402
(4) 公益特別試験会計	
永年使用除草剤総合安全性確認調査技術 確立委託費（国庫委託費）	

収 入	4,342,385 円
支 出	4,342,385

3. 昭和59年度剰余金処分承認の件

- (1) 公益事業会計剰余金 4,237,575 円
うち、3,000,000を協会準備金へ繰入れ、
1,237,575を次期繰越剰余金とする。
- (2) 公益委託試験会計剰余金 53,698,292 円
- (3) 収益事業会計剰余金 856,402 円
(2)・(3)については、次期繰越剰余金とする。

4. 昭和60年度事業計画及び予算承認の件

- 1) 昭和60年度事業計画について

【事務局】

- (1) 植物調節剤の開発利用に関する調査研究
- ① 水田体系は正用除草剤（一発処理剤）の開発に関する研究
- ② 水田一発処理剤の補正散布に関する研究
- ③ 水田難防除雑草に関する研究
- ④ 機械散布技術の確立に関する研究
- ⑤ 水田除草剤モデル圃場の設置（新規）
- ⑥ 水稻倒伏軽減剤の開発に関する研究
- ⑦ 畑地用細粒剤の開発に関する研究
- ⑧ 水稻の登熟向上に関する研究
- ⑨ ぶどう花振り防止剤に関する研究
- ⑩ 柑橘類の摘果剤に関する研究
- ⑪ 果樹の収穫前落果防止剤に関する研究
- ⑫ 除草剤の永年使用による土壌、作物、微生物

物に及ぼす影響に関する調査研究

⑬ 市況調査研究

- (2) 植物調節剤薬効薬害試験の受託・委託、
試験成績検討会の開催、成績書の印刷、研
究成果の研究・普及行政部局に対する説明、
および研究会・講習会等の開催

【研究所】

植物調節剤の開発利用調査研究・試験の受託、
および研修生の受け入れ

【支 部】

植物調節剤の試験受託

2) 昭和60年度予算について

(1) 公益事業会計

収 入	32,090,000 円
支 出	32,090,000

(2) 公益委託試験会計

収 入	1,004,400,000 円
支 出	1,004,400,000

(3) 収益事業会計

収 入	14,520,000 円
支 出	14,520,000

(4) 公益特別試験会計

永年使用除草剤総合安全性確認調査技術確
立委託費（国庫委託費）

収 入	4,383,000 円
支 出	4,383,000

5. 当協会創立二十周年記念行事収支決算報告の件

昭和59年12月14日11時から虎ノ門パストラルにおいて記念式典を挙行政した（植物調節剤開発利用普及20年功労者337名、協会設立特別功績者11名）。

記念行事収支決算

収 入	11,914,780 円
支 出	11,914,780

◎ 会議開催日程のお知らせ

- ・昭和59年度秋冬作芝生関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会

日時：昭和60年7月17日～18日

場所：公立学校共済組合「せとうち苑」
(広島市東区光町2-3-8)

適期防除で 確かな効果—!

低温でも安心して使え、周辺作物にも安全な

アピロサン®粒剤

- 1年生雑草及び、ヒルムシロ・ヘラオモダカ・ホタルイ・ミヅガヤツリを経済的に防除。

水田雑草の総合防除に

ワイダー®粒剤

- ヒエはもとより、ウリカワ・クログワイ・ミヅガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・ヒルムシロなど多くの多年生雑草に高い効果。



アピロサン・ワイダー普及会

武田薬品・日本チバガイギー
石原産業・BASFジャパン

編集後記

陽性型梅雨のためか、梅雨前線が活発に活動し、各地で豪雨による被害が発生している。天候に左右される農業は、このような自然の災害を受けながらも、人類への食糧供給のために、その使命を果してきた。しかしながら、貿易の発達により、農産物の流通が国際化するのにしたがい、各国の余剰農産物がわが国にも流れこみ、国内農産物価格の保護も限界に近づきつつある。その上、国民の食生活も変貌し、消費構造の大幅な変化から、従来からの農産物に対する国民の関心がうすれ、このままでは日本の農業の先行が思いやられる。10年後の農業、20年後の農業を考えたとき、果して現在の食糧管理法は、農民を正しく育成することができるであ

ろうか。農民保護を考える前に、10～20年後の農業の姿を的確にとらえ、これを農民に教え、強い農民を育て、国際競争に対応できる農業に導くことが急務ではあるまいか。

財団法人 日本植物調節剤研究協会

東京都台東区台東1丁目26番6号

電話 東京(03)832-4188(代)

昭和60年6月発行

植調第19巻第3号

定価400円(送料170円)

編集人 日本植物調節剤研究協会専務理事 吉沢長人

発行人 植調編集印刷事務所 広田伸七

東京都台東区台東1-26-6 全国農村教育協会

発行所 植調編集印刷事務所

電話 東京(03)833-1821番(代)